

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広圏デジタル化推進構想（原案）に対して、住民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、パブリックコメントを踏まえた修正は行わず、最終案を策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広圏デジタル化推進構想（原案）		
募 集 期 間	令和5年11月27日（月）～令和5年12月26日（火）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	10件（ 4人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	2件
	その他	意見として伺ったもの	7件
意 見 の 受 け 取 り	持参		1人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		3人

【意見等の内容】

意見の概要	件数	意見に対する考え方
資料が多く、概要版資料があったほうが良い。	1件	【その他】 本構想は、パソコン等での閲覧を想定し、横版で文字を大きく設定しています。また文字数もできるだけ抑えながら、図版やグラフ等も活用して作成したところです。そのため、現時点では概要版の作成は予定しておりませんのでご理解願います。
どのようなメリットがあるのか分かりづらい。	1件	【その他】 デジタルの考え方は広範にわたっており、個別の取組はもとより、様々な分野で全体的にデジタル化が進むことで、住民福祉の向上や地域の活性化に資するものと考えています。

意見の概要	件数	意見に対する考え方
格好の良い表題や横文字が多すぎる。解りやすい表現にすることが適当と思う。	1件	<p>【その他】</p> <p>デジタル分野は、専門的な用語が多いですが、なるべくわかりやすい表現に留意しているほか、参考資料として用語集を作成しています。</p>
全体的にカタカナが多く、結局何をしたいのか、伝わりづらい。	1件	
デジタル技術を活用したデュアルスクールの導入に関する事について、教育を通じて民主的な政治体制と皇室の役割について理解を深める機会を提供して頂きたい。	1件	<p>【その他】</p> <p>デュアルスクールは、住民票を移すことなく、複数の学校の授業を受けられる仕組みのことであり、学習・教育の内容については、学習指導要領等に基づき、各学校で教育課程を編成しています。</p>
本件は世界的客観性からみて遅れているという認識で出発すべきで、現状で取り組めることは同時並行で実施し、書くことではない。	1件	<p>【その他】</p> <p>世界の中で、日本はデジタル化が遅れているという認識は、国でも示しており、そのため、できることから始めることが重要と考えております。</p> <p>特に、ウェルビーイングエリアに関する取組については、すぐに取り組める項目についても記載し、実現していくことで、住民の皆さんだけでなく、行政内部にもデジタル活用の意識や利便性の実感を浸透させていきたいと考えています。</p>
会議の委員が男性に偏っていて、年齢も高い印象である。ダイバーシティの発想を持ち、幅広い人々の考えや意見を取り入れてほしい。	1件	<p>【その他】</p> <p>多様性の観点は重要と考えており、今回のアドバイザリーボードの委員も、委員の経歴や年代の多様性には一定程度留意をして選定しておりますが、より多角的な視点を取り入れられるよう努めてまいります。</p>
農業だけ強くても、他が弱ければうまくいかない。バランスが重要である。民間のGDPは消費+投資であり、消費を強くする必要がある。	1件	<p>【参考】</p> <p>農業をはじめとした地域産業の活性化はもとより、消費者の生活視点でのデジタル化も必要であり、ローカルハブとウェルビーイングエリアの双方を連携しながら取り組んでいくことが必要と考えております。</p>
本件の内容はすべての分野に影響があり、今実施している行政と切り離すことはできない。業務の棚卸しをして現状を分析・把握しなければならない。財政や施設マネジメントの問題は高齢化問題と併せて議論しなければならない。	1件	<p>【参考】</p> <p>ご意見のとおり、特に行政のデジタル化の推進にあたっては、既存業務の分析が欠かせないと考えております。</p> <p>財政や公共施設マネジメント、少子高齢化など、自治体が抱えるさまざまな課題について、デジタル技術がどのように貢献できるかという観点を持ち、検討を進めてまいります。</p>

意見の概要	件数	意見に対する考え方
<p>デジタル化はとても重要な課題であり、是非推進していただききたいが、外国人にとっても安心できる地域であるためのデジタル化という観点を追加してほしい。</p> <p>今後も、多文化共生が進んでいくと考えられ、例えば翻訳アプリなどを用いての各所窓口の対応強化や、QRコードで読み取る多言語対応観光案内など、ハード・ソフト両面でまだまだ対応が必要ではないか。</p>	<p>1件</p>	<p>【既記載】</p> <p>構想の9ページにあるように、人を中心として取り組みを進めることとしており、その対象は住民の皆さんだけでなく、関係人口、共鳴人口、交流人口を含めて、幅広くとらえることとしております。</p> <p>また、14ページに記載の「役所窓口での会話（音声情報）の画面表示」などは外国語への対応も念頭に置いているほか、キャッチフレーズとして「世界的拠点」という語を用いていることも踏まえまして、取り組みを進めてまいります。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり